伊那地域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について

■共生ビジョン期間: 平成28年度~令和2年度(5年間)

			基本目	標						平成30年度取組		重要業績評価指標(KPI)							令和元年度取組	
政策分野	指標	現状値	年度	目標値	達成年度	H30年度 実績値	事業名	事業概要	期待される効果	内 容	事業費[決算額	指標	現状値	年度 目標値	達成 H2 年度 実	8年度	H29年度 実績値	H30年度 実績値	内 容	事業費 [予算額]
	圏域内の従業者 数	40,843人	38,266人		_			ズや就労条件等により、ある程度	○空き家バンクホームページ運営・改修○空き家バンクツアーの開催(平成30年8月25日開催 8組15名参加 2	(千円)	空き家バンク登録件数	15件/年	91件/年	(67件	70件	104件	〇空き家バンクホームページ運営 〇空き家の総合相談会の開催 (令和1年8月13日、伊那市・箕輪町・南	(千円)	
産業 振興	圏域内の製造品 出荷額等	354,108百万円	H26	408,997百万F	— H32		空き家バンク	圏域内への移住・定住により 産業の担い手確保及び産業 の活性化を推進するため、空 き家の利活用を促進する。	情報を求めていることから、圏域 全体の物件情報をまとめて発信 することで、住まいを効果的に探 すことができ、圏域内への移住・	ルートを設定し4物件を見学) 〇空き家バンク登録相談会の開催 (平成31年3月8日開催 相談者14組 会場:		空き家バンク 成約件数 空き家バンク 利用居住者数	12件/年	H27 60件/年 118人/年		36件	52件	66件 156人	(予和1年6月13日、伊那川・兵輪町・開 箕輪村) (令和2年3月13日、伊那市・南箕輪村) 〇長野県主催移住セミナーへの参加 (令和元年11月10日及び12月8日 会 場:ふるさと回帰支援センター(有楽 町))	13,705
生活 幾能の 強化	上 圏域内年少人口 (毎年4月1日現在)	15,223人	H27	15,284人	H32	14,619 人	子育て拠点施設の相 互利用の充実	目 各市町村の子育て拠点施設を圏域の住民が相互に利用できる体制を充実させる。	圏域の住民が様々なニーズに対応した支援サービスを受けること	〇子育て支援センターのHP上のリンクを3市 町村とも実施 〇映画「ずっと、いっしょ」上映会開催 30.11.17(土) 南箕輪村村民センター・こども 館	8,786	子育て支援センター延べ利用者数	49,173人/年	H27 70,213人/年	H32 61,	497 人	66,172 人	65,971 人	〇子育て支援センターの案内マップリーフレット作成(2000部:196千円)〇子育て支援センターへ3市町村の情報コーナー設置検討〇子育て情報のメール配信や子育てアプリ、HPでの情報発信について検討	9,514
 福祉 						【参考】 H31年度 実績値	子ども子育て関連事業間での協力体制の	共同で実施することにより効 事 果が見込まれる各市町村の 子ども子育て関連事業間での 協力体制の検討・構築を行 う。	圏域の住民の子ども子育て関連 事業への理解・参加を促すことが できる。地域人材の育成・掘り起 し、職員・指導員の資質の向上を 図ることにより、子ども子育て関 連事業の充実が図られる。	○病児病後児保育の共同実施 ○ファミリー・サポート・センター合同養成講座 開催 30.7.12~8.30(全6回) 新規登録25人(伊那 13人、箕輪5人、南箕輪7人) ○ファミリー・サポート・センタースキルアップ 講座開催 30.11.27 11人参加 (伊那3人、箕輪2人、南箕輪6人) ○ファミリー・サポート・センター保険加入保障 内容の統一実施(H31年度~)	1	病児病後児保育 登録者数	1,239人	H28 1,924人	90 H32	05 人	1,439 人	1,159 人	〇ファミリー・サポート・センター各講座 の共同開催、内容の確認見直し - (協力会員養成講座R1年6月20日~7	20,884
						14,363 人	検討・構築					ファミリーサポー トセンター新規登 録者数	15人/年	H27 2 5人/年	1	13人	32人	25人	月25日の6回、スキルアップ講座11月 25日)	
結びつきやネット 地交通公通	共 3市町村のコミュニティバスの年間利用者数] 142,743人/年	€ H27	239,300人/年	H32	2 172,171 人	バスによる行政区域 間縦断路線の試験 運行	圏域内における住民の移動及 び交流を促進するため、3市 町村を結ぶバス路線を試験運 行する。	連携町村から中心市内の総合病院、商業施設、高等学校等へのアクセスの利便性を高めることによって、圏域内の移動・交流が活性化し、人的交流の促進、受診の機会の平準化、就学の選択感の拡大、商業の活性化、一体感の醸成等が期待できる。また、各市町村が現在運行しているバス路線と接続することにより、相乗効果による相互の活性化が期待できる。	○試験運行の実施 【運行回数】 毎日運行 (平日:上下各7便、休日:上下各4便) 1便当たり利用者数 4.95人 【利用促進】 ・高齢者への試乗券チラシの配布 ・「10円バスの日」の実施(年度内に6日間実施) 〇停留所(沢渡駅)の環境整備 ・建物設計	42,725	行政区間縦断路 線の年間利用者 数	0人/年	H27 23,800人/年	H32		17,005 人	20,319 人	○試験運行の実施 【運行回数】 毎日運行 (平日:上下各7便、休日:上下各4便) 【利用促進】 ・バス乗り放題デーの実施(年6回) ・広報番組等でのPR ・お試し乗車補助券の配布 ○停留所(沢渡駅)の環境整備 ・建物建設	112,252
) m :							中心市における市街 地循環バスの内回り 便の試験運行	圏域内の移動・交流の活性化のため、現在、中心市において運行している市街地循環バス路線について、循環方向を逆にした内回り便を試験的に	定住自立圏構想に基づいて試験 運行する行政区域間縦断路線と 接続する中心市の市街地循環バスの利便性を向上させることにより、中心市や連携町村の住民の 圏域内における移動・交流が活性化されることから、人的交流の 促進、商業の活性化、一体感の 醸成等が期待できる。	【運行回数】 ・毎日運行(17便/日) ・1便当たり利用者数 3.99人 【利用促進】 ・バス乗り放題デーの実施(年6回) ・スタンプラリーの実施(年2回)	21,520	伊那市街地循環 バス内回り便の 年間利用者数	0人/年	H27 29,300人/年	H32		20,967 人	24,660 人	〇試験運行の実施 【運行回数】 毎日運行(17便/日) 【利用促進·PR】 ・バス乗り放題デーの実施(年6回) ・広報番組等でのPR ・子ども定期券の販売	23,889
圏域のマネジメント強化人育材成材成	3市町村の合同 職員研修の受講 者数	102人/年	H28	350人/年	H32	183人	合同職員研修	職員の資質向上、政策形成能力の強化、相互の交流等を目的として、連携市町村が合同で職員研修を実施する。	圏域の基礎的知識及び共通課題の学習、課題解決・政策形成能力向上に資する研修等の実施により、圏域の将来像を見据えたマネジメント能力の高い職員を育成することができる。また、合同研修を通じて圏域職員の一体感が醸成され、関係事業の円滑な実施が期待できる。	○合同職員研修の実施(4回) ・圏域市町村主要施設等視察研修 ・法制執務(基礎)研修(2日間) ・「住民と作る これからの行政」研修 ・接遇研修	523	合同職員研修実施回数	1回/年	H28 5回/年	H32	2回	4回	4回	〇合同職員研修の実施 【実施回数】 5回(予定)	1,018

※事業費は財政措置(特別交付税)の対象経費を計上